



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/筒井和浩

vol.123

2024.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜 卓内
TEL (058) 248-6029
FAX (058) 245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://gifu.rofuku.net>

第70回定期総会を開催

～労働者福祉運動の連携を強化し、地域に共助の輪を広げよう!～

2024年5月24日(金)9:30より、ワークプラザ岐阜5階大ホールにおいて岐阜労福協第70回定期総会を開催しました。最初に司会の足立副会長より、定数35名に対し、出席が27名、委任状が6名、合計33名を確認し、規約第21条の総会要件の成立宣言があり、その後、森川常任幹事が議長に選出されました。冒頭に岐阜労福協 筒井和浩会長が挨拶し、岐阜県商工労働部労働雇用課 森島恵理子課長、岐阜市経済部 大東徹経済政策参与、連合岐阜 子安英俊副会長の3名の祝辞の後、議事に入りました。報告事項は、加藤事務局次長より2023年度活動報告を提案、多数の拍手で承認されました。第1号議案は、栗本事務局次長より2023年度決算報告、監査報告は、高橋監査より報告され、賛成27、反対0、保留0で承認されました。第2号議案は、櫻井事務局長より、2024年度活動方針(案)および予算(案)について一括提案され、賛成27、反対0、保留0で承認されました。第3号議案は、櫻井事務局長より岐阜県労働者福祉協議会規約改正について提案され、賛成27、反対0、保留0で承認されました。最後に足立副会長の閉会挨拶にて、承認いただいた2024年度活動方針にもとづいて今後の活動を展開していくために全役員・会員の皆様にご協力をお願いし、第70回定期総会は無事終了しました。



筒井会長



議長 森川常任幹事



岐阜県 森島課長



岐阜市 大東参与



連合岐阜 子安副会長



岐阜県勤労福祉センター 第55回定期総会を開催

5月24日(金)岐阜県勤労福祉センター第55回定期総会が開催されました。議事では、第1号議案:役員一部交代(監事)承認の件、第2号議案:理事及び監事の報酬額の件、第3号議案:貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認の件について提案し、決議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。

「能登半島地震から学ぶ 事前の備え/事後の備え」をテーマに記念講演会を開催

2024年5月24日(金)13:00より、こくみん共済coop岐阜推進本部事業推進部 角野奈央紀次長を講師に「能登半島地震から学ぶ 事前の備え/事後の備え～私たちにできること～」をテーマに、60名の参加者により記念講演会を開催しました。最初に筒井会長が挨拶し、講演を開始しました。講演では、最初に、今回の能登半島地震で1月に志賀町、3月に輪島市、5月に珠洲市に現場調査を実施した際の、それぞれの当時に撮影した現場の状況をスライドで紹介がありました。多くの家屋が崩壊した状況や道路がぐずれて通行が困難な状況など、復旧にはまだ時間がかかることがわかりました。また、南海トラフ三連動巨大地震が発生した場合、岐阜県では海はないものの、土砂災害や河川の氾濫などで被害が想定され、そのうえで、様々な備えが必要な事例を紹介していただきました。室内の対策として、就寝位置は家具が倒れてくる位置にしないことや、食器の重ね方により揺れに強くなることなど、身近なところから対策する必要性を学びました。最後に、労働組合が防災を取り組み、組合員と家族が「災害ごときで死なない」世の中をつくる必要があることを語られ講演は終了しました。



2024年度

岐阜労福協 各支部定期総会開催



岐阜支部定期総会

岐阜支部の2024年度定期総会は、6月26日(水)にワークプラザ岐阜にて開催しました。冒頭、新井支部長から挨拶した後、櫻井事務局長から激励の挨拶を頂戴しました。議事では、2023年度活動報告および決算報告を行い、満場一致で承認されました。その後、2024年度活動方針および予算案、支部役員承認の件について提起し、予算案について質疑を受けた後、満場一致で承認されました。2024年度は、昨年度以上に活動の活性化を図るとともに、会員組合との連携をより強固なものにしていきたいと考えております。

西濃支部定期総会

西濃支部の2024年度定期総会は、6月26日(水)にサンワーク大垣にて開催しました。

冒頭、堀支部長の挨拶で始まり、県労福協の筒井会長より激励の挨拶をいただきました。2023年度活動報告・決算報告のあと、2024年度活動方針・予算・役員変更等が提起され、満場一致で承認されました。

最後に、新たに支部長になられた岡田さんより挨拶があり、事業団体と連携した活動をさらに深める意思を固め、閉会としました。



中濃支部定期総会

中濃支部の2024年度定期総会は、6月14日(金)に美濃加茂市生涯学習センター(202号室)にて開催しました。冒頭、齋藤支部長の挨拶で始まり、県労福協の筒井会長より激励の挨拶を頂戴しました。

議事では2023年度総括と2024年度活動方針・新役員の承認等の諸議案を審議し、満場一致で承認されました。連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向け、文化・体育活動や生涯福祉の充実、会員・事業団体との連携を深める活動を行っていくことを確認しました。



東濃支部定期総会

東濃支部の2024年度定期総会は、6月19日(水)に瑞浪市総合文化センターにて開催しました。冒頭、加藤支部長が挨拶したのち、県労福協の櫻井事務局長より激励の挨拶を頂戴しました。議事では2023年度の総括、2024年度の活動方針・予算の審議、役員報告をおこない、満場一致で承認されました。2024年度も引き続き、労働者福祉事業団体他とも連携し、会員の文化体育他の活動を充実させていくことを確認しました。



飛騨支部定期総会

飛騨支部の2024年度定期総会は、6月11日(火)に高山市民文化会館にて開催しました。

冒頭、小井戸支部長の挨拶があり、その後、来賓の筒井会長より挨拶を受けました。2024年度の活動方針が提案され、各種行事をコロナ禍前の規模で開催することや、生活上のお悩みを抱えている勤労者の相談窓口として「なんでも相談会」「飛騨地域勤労者サポートセンター」の機能を自治体のご協力のもと、さらに充実させること等が承認されました。



東海労働金庫 第24回通常総会



6月24日(月)に名古屋市の「ウインクあいち大ホール」において東海労働金庫第24回通常総会が愛知・岐阜・三重の各地から多くの代議員が出席し開催されました。昨年より通常の集合開催にて行われ、各議案審議および理事選任は全会一致で承認されました。

7月31日(水)ワークプラザ岐阜において、岐阜県労働者共済生活協同組合第66回通常総代会およびこくみん共済coop岐阜推進本部第7回組合員代表者会議が開催されました。

開催にあたっては、昨年に引き続き、「書面議決権」による議決権行使を取り入れ、総代数150名中、出席総代58名、書面議決92名、合計150名の出席で開催され、全ての議案について、満場一致で承認されました。また、6名の理事・監事(代表委員)が新たに選任されました。



岐阜県労働者共済生活協同組合 第66回通常総代会 こくみん共済coop岐阜推進本部 第7回組合員代表者会議

会員産別への 取り組み要請

岐阜労福協では、中央労福協の「全国福祉強化キャンペーン」と連動し、岐阜県労働者福祉協議会および岐阜県内における労働者福祉事業団体(東海労働金庫、こくみん共済coop岐阜推進本部、岐阜県勤労福祉センター)の事業推進と利用拡大に向けた取り組みを展開いたします。今年度も各産別へ訪問させていただき要請活動を行います。

1.労働者福祉事業団体の広報・宣伝や事業推進の取り組みについて

- (1) 貴組織や加盟労組において、定期大会の運動方針に、労働者福祉事業団体の事業推進や利用拡大に関する方針の記載や補強をお願いいたします。
- (2) 貴組織や加盟労組の取り組みに関する理解を深めるために、定期大会の議案書を各労働者福祉事業団体の担当職員に渡していただきますようお願いいたします。
- (3) 貴組織や加盟労組と各労働者福祉事業団体との更なる連携や、利用促進に向けた取り組みをお願いいたします。
- (4) 貴組織や加盟労組の大会議案書・各種会議資料や機関紙等に、各労働者福祉事業団体の広告の掲載をお願いいたします。
- (5) 貴組織や加盟労組で開催する、セミナー・研修会等の前段や休憩時間等を利用し、若年層組合員を中心に、労働者福祉事業団体の研修教材を活用し、認知度向上の取り組みをお願いいたします。
- (6) 労働者福祉運動の担い手の育成に向け、岐阜労福協や労福協支部が主催します各種セミナーやイベントへの参加とともに、貴組織においても教育研修の企画・実施をお願いいたします。
- (7) 上記の取り組みについて、貴組織から加盟労組にご周知下さいませようお願いいたします。

2.各労働者福祉事業団体の利用拡大・促進の取り組みについて

- (1) 東海労働金庫
 - ① 新たな接点 労組役員との接点(TUNAG)、組合員との接点(WEBパートナーの導入)
 - ② バランスのとれた資産形成(財形・エース預金・新NISA)
 - ③ 知らせる活動の強化(無担保ローン・スマート口座・ダイレクト) ④ ろうぎん運動(預金結集)
 - ⑤ 生涯取引(59歳~65歳組合員+OB組合員への面談活動)OB組織への紹介
- (2) こくみん共済coop岐阜推進本部
 - ① 労組役員啓発活動 ② 既加入者推進
 - ③ 重点共済の取り組み(団体生命共済、住み共済、マイカー共済/自賠責共済、こくみん共済、新団体年金共済)
 - ④ ライフサイクル推進 ⑤ 公式アプリ導入促進の取り組み
- (3) 岐阜県勤労福祉センター
 - ① ワークプラザ岐阜会議室の利用拡大 ② ライフサポートセンターぎふの取り組み周知

能登半島のこめ農業、 こめ農家を応援!復興支援米販売



岐阜労福協は2024年4月27日、岐阜市金公園で開催される第95回岐阜県中央メーデーにてブースを出店し、能登半島の被災地支援として震災復興米の販売を行う予定をしていましたが、雨天で出店は中止となり、後日、岐阜労福協事務所内で震災復興米の販売を行いました。

お米は能登半島の入り口にある『あえのショップ(中橋商事株式会社)』から、100個(1個5kg 2,000円)仕入れを行い、会員の皆さまに購入のお願いをしたところ、93個をお買い上げいただきました。

お買い上げいただきました皆さま、ご協力誠にありがとうございました。

なお、売上金合計186,000円は、1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被災者を支えるため、今年度中にその全額を義援金として被災地へ寄付することを予定しています。

今後も岐阜労福協として、引き続き復興支援の活動を継続していきます。

震災復興米を (一社)こどもがセンターへ寄贈



2024年6月14日 岐阜労福協は、地方における社会貢献活動の一環として、子ども食堂の運営支援を行う一般社団法人こどもがセンターに、能登半島地震の被災地から購入した震災復興米7個(35kg)の寄贈を行いました。

寄贈式では、櫻井事務局長から今回の寄贈趣旨が述べられ、宮崎代表理事から「このような寄付は大変ありがたく、福祉施設や子ども食堂に配布して、お米を必要とする人々に支援として届けます」と感謝の言葉をいただきました。

中央労福協主催

「全国研究集会2024 in OKINAWA」に参加

—Open up the future
子どもたちの未来のために。
地域の挑戦!—

2024年6月7日(金)に、沖縄県那覇市内の那覇文化芸術劇場なは一と大劇場で開催されました。全国各地から293名、WebでのLive配信視聴204名が参加、岐阜労福協からは筒井会長をはじめ5名で参加しました。最初のオープニングセッションでは、総合司会に松田淳奈フリーアナウンサー、ゲストに沖縄県玉城デニー知事、沖縄県労福協仲宗根哲理事長を迎え、歓迎の言葉と沖縄県の魅力について動画を交えた紹介がありました。トークセッションでは、自然環境、スポーツ、音楽、文化芸術、フードサービス、子育て支援など、さまざまなアプローチから地域の子供たちと関わり、「楽しさ」を追求しつつ子供たちの「居場所」づくりの役割を担っているNPO、民間企業などからゲストを招き、新しい発想で事業活動を展開する地域の挑戦に着目し意見交換が行われました。今回のトークセッションを通じて、子供たちが抱える課題は、「未来を担う世代」の課題であり、子供たちが置かれている現状を知り、社会や地域でいかに育てていくか、地域はどのように役割を果たすのか、参加者が一緒に考え、子供たちを取り巻く課題と取り組み事例について広く見識を深め、学習・体験・活動を通して子どもたちの自己肯定感を育てることが大事であることを学びました。



お知らせ

チャリティー文化講演会を 以下の通り開催します

日時 2024年11月5日(火)

場所 じゅうろくプラザ 2Fホール

講師 杉本 昌隆(将棋棋士・日本将棋連盟所属)

講演 「弟子・藤井聡太の学び方」

～ その他詳細は、決まり次第お知らせします ～